

中小企業地域資源
活用促進法に基づく



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

わが市町村の
ふるさと名物は
これ!

香川県東かがわ市
が応援するふるさと名物

128年続く縫製技術
手袋／カバン・袋物／縫製品





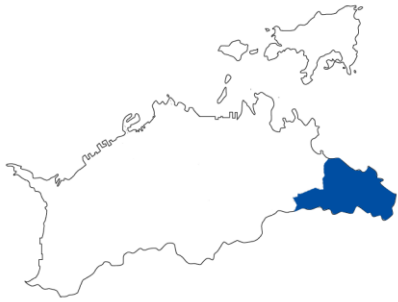
ふるさと名物
Furusato Meibutsu

平成28年5月31日

応援宣言

香川県東かがわ市 (うどん県てぶくろ市)

地域の
プロフィール



人口 32,187人
面積 152.83 km²

東かがわ市は、その名のとおり、香川県の東端に位置し、平成15年に引田町・白鳥町・大内町の3町が合併して誕生しました。

南には阿讃山脈があり、北は瀬戸内海に面し、そして平地には田園が広がる、自然豊かで、気候の穏やかな市です。

産業は、江戸時代から続く「讃岐和三盆糖」や「製菓」、日本一のシェアを誇る「手袋」などがあります。また、世界で初めてハマチの養殖に成功し、養殖産業も盛んです。

地域の歴史を物語る豊かな産品が今も輝きを放ち続けています。



東かがわ市の紹介

産 業



製薬



フィルム



ベアリング



裁断機

観 光



特 産 品



ぶどうもち



大内パセリ



讃岐和三盆糖



キャビア

1

主な地域資源

128年続く伝統を今に受け継ぐ縫製技術～手袋～



東かがわ市の手袋づくりは、明治21年（1888年）にメリヤス手袋を製造したことに始まり、第1次世界大戦の特需で産業としての基盤が確立しました。

昭和20～30年代には高度経済成長の波に乗り、世界一の産地であったアメリカ合衆国を抜き、当地が世界一の手袋の産地となりました。

その後、バブル景気の崩壊による長期不況や気象温暖化に対処する新技術・新商品の開発に努め、一方ではグローバル化に対応した海外生産体制の確立を図り、新しい地場産業としての環境整備がなされていきました。

こうした努力により現在でも、日本シェアNo.1を維持し続けています。これは多くの先人たちの努力や苦勞の賜物といえるでしょう。



2

主な地域資源

手袋から多角化した技術 ～カバン・袋物、縫製品～

昭和40年代、東かがわ市では、産地の多角化を目指す一環として手袋製造で培ったノウハウを応用し、かばん・革小物製造がスタートしました。手袋製造の素材選定や裁断、縫製などの細かな技術を活かし、多様的で個性的なデザインが魅力です。

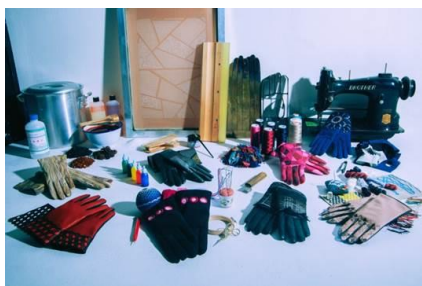




『香川手袋』への取組

主な製造拠点を海外に移したことによる、国内生産の技術者の高齢化、後継者不足が問題となっている中で、128年の技術継承と産業の創造性を高め、常に新しい「手と手袋のあり方」を提案できるような地域にしたいと考え、日本手袋工業組合では、企業の枠を超えた新たな創造のプラットフォーム「1888手袋ラボ」を2014年に立ち上げました。

「1888手袋ラボ」は、人の手のあり方と手袋の未来について考える場であり、素材や技術を広く見渡し、人の手を探求することで、『今までにない手袋を創造』し、『新しい手袋のあり方を追究』していく場です。ラボには地域の手袋に関わる人々だけでなく、地域外の人々とともに、手と手袋の新しい関係を築く未来を生み出したいと考えています。そして、生まれた先鋭的なクリエイションを、『**香川手袋**』としてブランドの確立を目指しています。



オリジナルブランドの取組例

『香川手袋』以外にも、各事業者が自社ブランドの商品開発や販路開拓を行っています。

Men's CAPRI GUANTI.



支えるバッグ
SWANY®



産業を活かした観光への取組

～128年の歴史を学び・体験！～

・ 香川てぶくろ資料館

登録有形民俗文化財に指定されている古いミシンなどの手袋製作用具や、古い手袋、有名スポーツ選手の手袋が展示されているほか、手袋産業の歴史が学べます。

併設するアウトレット店では、地元企業の手袋やバッグ、革小物などが格安で販売されています。



・ てぶくろギャラリー

手袋を歴史的な町並みの中で芸術作品として展示しようという試みのひとつ。

手袋工場跡地を改築し、昭和時代に使用していた古いミシン、手袋の型抜き道具や、手袋をアートに飾った「GLOVE GARDEN」、「GLOVE FOREST」などを展示している。また、革の端材を使った小物作り体験もできる。



1

補助金

◆日本手袋工業組合への支援

日本手袋工業組合による商品開発や販路開拓について支援しています。



商品開発

マーケティング調査によるブランド戦略設計を行い、ネーミング・ロゴマークの開発、ブランドの具現化を行った。

これまでに80アイテムの商品を開発。



販路開拓

国内の主要都市の百貨店等6会場でラボストアと称して販売会の開催。

渋谷ヒカリエで開催されたメルセデス・ファッションウィーク東京への出展。

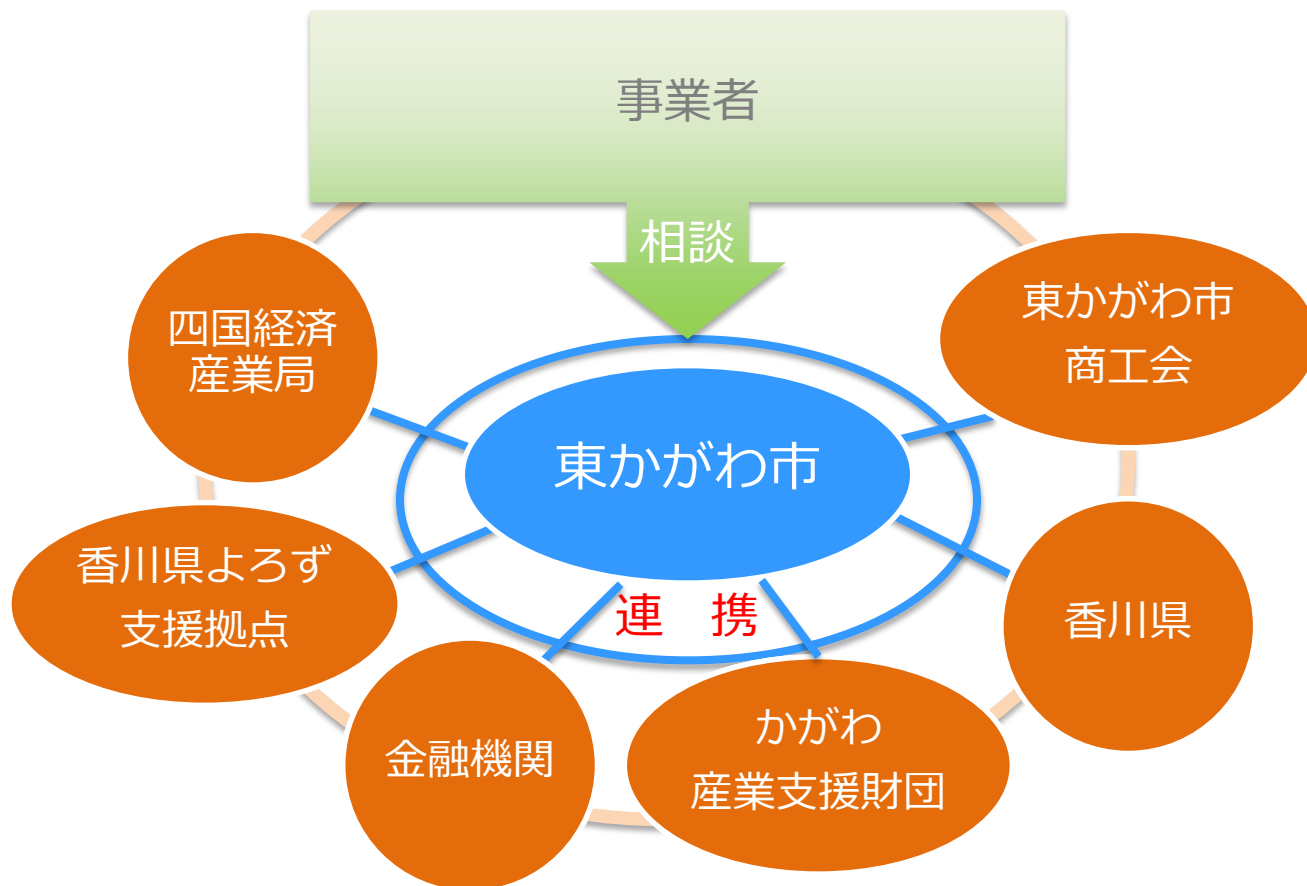
2

相談窓口

◆地域事業者の相談窓口

東かがわ市商工会、よろず東かがわサテライト等と連携し、事業者の相談窓口となります。

また、国・県等の補助金について、情報提供します。



3

情報発信

◆イベント開催等への支援、ホームページやパンフレット等による情報発信

「あいらぶ東かがわ大物産展」などへのイベント開催への支援をしています。

また、ホームページやパンフレット等で、ふるさと名物は積極的に情報発信していきます。



あいらぶ東かがわ大物産展



手袋&バック 冬まつり



ボク達も応援しています！

東かがわ市長応援メッセージ

『GLOVE』には『愛』がある



東かがわ市は、「愛着を持って いつまでも住み続けたい 自慢のまち 東かがわ」の実現を図るため、平成27年10月に「東かがわ市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、就職、結婚、出産、子育てとライフステージごとでの支援を行い、本市の創生に向けた、安全安心で暮らしやすいまちづくりを目指しています。

今回、128年の歴史を持つ縫製技術について、支援することで、日本一・世界一の職人技を、そして東かがわ市の魅力を発信し、縫製技術者の若返りや、新規技術者の雇用を促進してまいります。

以上のように、本市では「128年続く縫製技術」とそれらを活かした取組を「ふるさと名物」として応援することを宣言します。

平成28年5月31日

東かがわ市長 藤井 秀城